

都立学校開放施設の使用に関する条件

- 1 原則として、事前に提出した登録団体の構成員以外の者は、施設を使用できない。
- 2 責任者は、使用日時に使用団体に同行する。
- 3 責任者は、管理指導員との連絡を密に行い、管理指導員の指示等を使用者に周知徹底させる。
- 4 学校の敷地内は、全面禁煙とする。
- 5 使用者は、使用承認された施設以外の場所への立入りは厳禁とする。
- 6 使用後は、直ちに設備を現状に回復し、使用箇所・施設の清掃を行うこと。
- 7 使用者が出したゴミ等は、使用団体が持ち帰ること。
- 8 使用者相互の呼出し、連絡等に学校の電話を使用することはできない。
- 9 使用者の事故等に対しては、その団体の責任において適切な処置をとること。
- 10 施設等を破損した場合は、管理指導員に申し出、使用団体が責任を持って速やかに原形に復すること。特殊な破損については、東京都教育庁地域教育支援部生涯学習課と協議することもできる。
- 11 その他、登録団体は、都立学校施設開放事業実施要領及び各学校の開放事業運営委員会の定める使用の決まりに基づいて開放施設を使用する。
- 12 登録証及び使用申請書に虚偽の記載があった場合、使用の停止及び登録の取消しをする。
- 13 開放事業運営委員会は、使用状況等から特に必要と判断した場合、使用を取消することができる。
- 14 使用者は保険に加入すること。
- 15 使用承認後でも、学校教育上必要が生じた場合は、その承認を変更し又は取消することができる。